

# 2008年度新人選手インタビュー

2008年4月から新たにコベルコステイラーズの二員となった4名の選手たち。トップリーグという日本ラグビー界最高峰のステージに挑む彼らに、今後の活躍に賭ける熱き胸のうちを語ってもらいました。



やました ひろし

## PROFILE

- 生年月日:1986年1月1日
- 出身地:大阪府四條畷市
- 身長・体重:183cm・125kg
- ラグビー歴:都島工業高校→京都産業大学
- 代表歴:U23日本代表
- ニックネーム:やんぶー
- 趣味:貯金(笑)
- 見てもらいたいプレー:セットプレー
- 試合前のジグクス:ポイント締め直す
- 今年の目標:1試合でも多く試合に出る

## 山下裕史選手

PR

京都産業大出身

## 「良いプレーをして神戸に恩返ししたい」



たにぐち いたる

## PROFILE

- 生年月日:1984年10月1日
- 出身地:茨城県那珂市
- 身長・体重:190cm・110kg
- ラグビー歴:茗溪学園高校→筑波大学
- 代表歴:高校日本代表、U19日本代表、U21日本代表
- ニックネーム:リンダマン
- 趣味:ルッコラでパスタを食べること
- 見てもらいたいプレー:アタック
- 試合前のジグクス:特になし
- 今年の目標:日本一

## 谷口到選手

LO/NO.8

筑波大出身



(左から)谷口到選手、山下裕史選手、菊池和氣選手、ネーサン・アンダーソン選手

## 「目標は3番でレギュラー獲得!」

**京** 都産業大学の強力スクラムを支えた男が、今年4月、コベルコステイラーズの二員となった。「5月に行われた淡路島合宿で足を怪我して、今はリハビリ中なんです。けど、これまでやってきたウエイトトレーニングにしても、全体練習にしても、初めて取り組むことばかりですし、また周りにいる方のレベルが高いので、何をやっても楽しくて仕方ありません」と、入部して2ヶ月、コベルコステイラーズに入って感じることをこう語ってくれた。怪我のため、7月頃まで復帰は難しいと話す。その表情には焦りの色はない。「しっかりと怪我を治して、フィットネスをつけて、身体を張って仕事ができる選手になりたいと思います。痛いところに頭を突っ込んで、泥臭い仕事をする。そういう部分で自分にはまだまだ足りないと感じていますので」。理想の選手は、清水秀司氏。今年3月、惜しまれつつジャージを脱いだ、神戸のスクラムの要だ。「長年、神戸のスクラムを支え続け、

偉大な選手だと思います。自分もいつかそうなりたいです」。高校生からラグビーを始め、それまではずっと野球少年だったと言う山下選手。清水氏も中学まで野球部に所属。ラグビーを始めたのは高校からだ。その共通点を伝えると、「そうなんですか」と相手を崩した。残念ながら、清水氏本人と会ったことはないそうだが(5月現在)、人から伝え聞く清水秀司像に憧れを抱く。「自分が入ってスクラムを組んだ時に『安定した』と思ってもらえるような3番になりたいです」。京都産業大学で、現在コーチを務めるOBの吉田明氏にも「3番でレギュラーを獲れるよう、とにかく頑張れ」と言われ、神戸に送り出された。「3番のポジションの方、すべてがライバルです」とときどき言う。ラグビーを始めた高校時代からずっと「3番」。「コベルコステイラーズで3番をつけてトップリーグの試合に出る」という目標を掲げ、山下選手はただひたむきに練習を重ねる。

**「神戸からお話をいただいた時、本当にうれしかったです」**。高校日本代表、U19、U21日本代表に選ばれ、将来を嘱望された逸材。しかし、筑波大学3年時、恥骨結合炎という足の怪我に襲われた。歩くことさえできず、「このままラグビーができないようになるんじゃないか」、そう思ったことも。結局、大学3、4年の2年間を棒に振ることとなってしまった。「怪我をする前までは、いくつかのトップリーグのチームから誘いを受けていたんですが、やっぱり怪我をすると…。でするので、まさか神戸から誘っていたとは思っていませんでした。ラグビーをする環境をもう一度与えてくれた神戸に対してすごく感謝しています」と。とにかく今、ラグビーに没頭できることが楽しくて仕方ないという様子の谷口選手。ラグビーが好きですか?と問うと、「大好きですね」と弾けんばかりの笑顔で答えてくれた。「本当にやりたいことができているので、毎日がとても充実しています」。

「伊藤剛臣さんやNECの箕内さんを足して2で割ったような選手になりたいですね。今シーズン、試合に出て良いプレーをして優勝に貢献したいですし、それが神戸や僕がラグビーをできなかった時に支えてくれた両親や周りの人たちに對して恩返しになると思っています」。